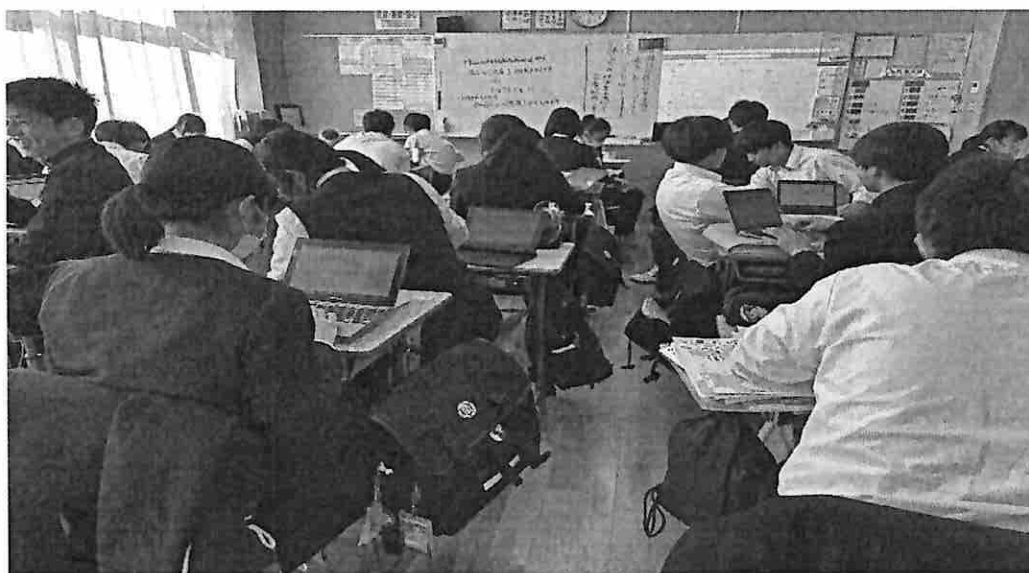


令和 7 年度

学習と生活のしおり

～ 凡事徹底とレベルアップ ～



さいたま市立与野西中学校

〒338-0013 さいたま市中央区鈴谷8-10-33

TEL 048(852)6235 FAX 048(852)6253

令和7年度
「学習と生活のしおり」
～凡事徹底とレベルアップ～
目 次

○ 令和7年度 学校経営案	1
○ 日課表	4
○ 各教科年間時数並びに各ユニットにおける時数	5
○ 評価・評定について	6
○ 与野西中学校の学習の約束	7
○ 家庭学習について	8
○ 学習計画表例	9
○ 国 語 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	10
○ 社 会 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	12
○ 数 学 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	14
○ 理 科 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	16
○ G ・ S 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	18
○ 音 楽 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	20
○ 美 術 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	22
○ 保 健 体 育 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	24
○ 技 術・家 庭 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	26
○ 特別支援学級 基礎学力定着プロジェクト・年間指導計画	28
○ 服装・身だしなみについての約束	30
○ SNS等インターネットに関わる与野西七ヶ条	31
○ 心を潤す4つの言葉、心を元気にする4つの言葉	32
○ いじめ0宣言	33
○ 令和7年度年間行事予定表	34

令和7年度 学校経営案

さいたま市立与野西中学校
校長 内田 崇 史

1 与野西中学校の教育理念

与野西中学校未来創造プロジェクト

- ・中学校教育は、小学校における教育の上に、生徒一人ひとりのもつ能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことを目的として行われるものである。
- ・本校への保護者や地域の期待感や関心は高く、本校の教育の推進に大きな力となっている。本校は、コミュニティースクールとして、保護者や地域等と協力し、その力を活用し、また、保護者や地域、関係機関との連携を密にしながら、生徒一人ひとりがWeii-Beingを大切にし、それぞれにとっての「幸せ」について具体的なイメージをもつことができる教育の実践を充実させるとともに、未来の担い手として力強く道を切り拓いていくための創造力の育成を積極的に図っていく。
- ・新しい時代、新しい教育を目指し、さいたま市が取り組んでいる「GIGA スクール構想」を実現し、質の高い教育を進めていく。
- ・関係法令及び「さいたま市の学校教育ビジョン」をもとに、保護者や地域等の期待と信頼に応えるべく全力を尽くして本校の教育を推進する。

2 学校教育目標

『心豊かな生徒』 『自ら学ぶ生徒』 『自己実現を目指す生徒』
(ゆたかに) (かしこく) (たくましく)

- ・ 心豊かな生徒 (ゆたかに)
 - 自他の生命や人権を尊重する心を育てる。
 - 他を思いやり、相手の立場になって行動できる態度を育てる。
 - 自然を愛し、美しいものに感動する心を育てる。
- ・ 自ら学ぶ生徒 (かしこく)
 - 自ら学ぼうとする意欲を育てる。
 - 学ぶ喜びや成就感、充足感を味わわせる。
 - 一人ひとりのよさや可能性を伸ばす。
- ・ 自己実現を目指す生徒 (たくましく)
 - 心身を鍛え、根気よく取り組む態度を育てる。
 - 夢を描き、自分の思いや願いを実現できる力を付ける。
 - 人間としてよりよく生きようとする意欲を育てる。

3 目指す学校像

「生徒が、希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する学校」

キャッチフレーズ

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校

4 生活目標

「礼を正し 場を浄め 時を守る」

5 学校経営方針

凡事徹底 と レベルアップ

○ 学 校 <与野西中の良さを継承しつつ新しい校風を創造する学校づくり>

- ・凡事徹底、あたりまえのことをあたりまえにできる学校
- ・生命を尊び、自然を大切にし、安心・安全で潤いのある学校
- ・授業や行事が生き生きと魅力的に展開されている学校
- ・正義と責任が重んじられ、豊かな心が育まれる活力と笑顔に満ちた学校
- ・保護者から信頼され、地域に愛され、ともに生徒の健全育成に取り組む学校

○ 生 徒 <「与野西中スピリッツ」を持った生徒の育成>

- ・凡事徹底、あたりまえのことをあたりまえにできる生徒
- ・コミュニケーション豊かに学び合い、主体的に学ぶ生徒
- ・礼儀を重んじ、感謝と思いやりの心に満ちた生徒
- ・規範意識と的確な判断力を身に付け、仲間とともに歩む生徒
- ・地域を愛し、地域とともに歩む生徒

○ 教職員 <保護者や地域から信頼される指導体制の確立>

- ・凡事徹底、あたりまえのことをあたりまえにできる教職員
- ・教育公務員としての自覚と高い規範意識をもった教職員
- ・常に授業の工夫・改善と資質の向上に努め、生徒の学力を伸ばす教職員
- ・毅然とした指導を旨とするとともに、近くで見守りながら生徒の生き方に関わる教職員
- ・地域を愛し、地域とともに歩む教師

6 本年度の努力点(与野西中推進プランR7)

(1) 学力の定着・向上をめざした授業の工夫・改善

- ① 「さいたま市GIGAスクール構想」の実現に向けて、ICTを基盤とした授業展開ができるように研修を重ね、授業改善を行う。
- ② よい授業の4つの因子(授業マネジメント、基礎アップ、授業スキル、生徒の活動)を取り入れ、持続可能な質の高い教育を進め、さらなる学力の向上に向けて授業改善を図る。
- ③ 一人ひとりの能力を的確に把握し、習熟度に応じたきめ細かい指導を充実させ、学力の向上を図るとともに、学習意欲を引き出す指導の工夫に努める。さらに、タブレットを効果的に活用した家庭学習の充実を図る。
- ④ コミュニケーション力と思考力の向上を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。
- ⑤ 教員の率先垂範による授業時間を守る、授業環境の整備、授業規律の保持に努め、学習環境を整えるとともに学習に対する意識を向上させる。
- ⑥ 小・中一貫教育のさらなる推進により、小・中一貫カリキュラムを導入した教育課程を実施するとともに、授業における校区内3校の小学校との連携を進める。
- ⑦ 知的好奇心や論理的思考を高める取組を全教科で進めるとともに、生徒たちの直接体験の場として委員会や部活動の活性化を図る。
- ⑧ 国際社会をたくましく豊かに生きる生徒の育成を目指し、さらにコミュニケーション力のアップを図る。
- ⑨ 自他を大切に、尊重できる心の育成を授業や行事等、教育活動全体を通してはぐくむ。

(2) 信頼関係に立った生徒指導の充実

- ① 生徒指導・教育相談の体制を見直し、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、持続可能な開発のための教育組織を構築する。
- ② 一人ひとりのよさを認め伸ばす指導を基盤として、生徒と教師、保護者、地域との信頼感の醸成に努めるとともに、善悪のけじめについての毅然とした指導、及び関係者・関係機関と連携した指導を行う。
- ③ 「迅速・確実な報・連・相・見届け(確認)」を行動指針とし、全教職員が同一歩調で指導に当たることのできる生

徒指導体制を維持するとともに、一層の充実を図る。

- ④ 常に生徒の傍らに教職員がいるように努め、多くの教職員が生徒と関わり人間関係を深めるよう努める。
- ⑤ 生徒の状況の早期把握、共有化、早期対応に努めるとともに、毅然とした是是非非の指導を行う。
- ⑥ 他機関(特に教育相談室)との連携を密に、不登校生徒解消に向けて取り組み、教室に足が向かない生徒のためのSolaルームや教育相談室の整備を一層進める。
- ⑦ 小・中一貫教育のさらなる推進により、校区内3校の小学校との生徒指導のきまり等の連携を進める。

(3) きめ細かな指導をととした心豊かな生徒の育成

- ① 「心と生活のアンケート」等を活用し、生徒の小さな変化を早期に把握し、ケース会議等をととして教育相談活動を一層充実させ、個々の生徒に関する情報の共有化と組織的対応を図り、迅速かつ適切な対応に努める。
- ② いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会等組織的にいじめ防止に取り組み、いじめを絶対に許さない気運を醸成するとともに、差別を憎む、思いやりのある心豊かな生徒の育成に努める。
- ③ 生徒会活動や部活動、学校行事等を充実させ、学校の主役である生徒の活動意欲を引き出すとともに、諸活動に真剣に取り組ませ、生徒のよさを望ましい方向に発現させる。
- ④ 特別支援学級や通級指導教室においてはソーシャルスキルトレーニング等の積極的な活用により、より一層の指導の充実を図るとともに、特別支援学級の弾力的運用等について、実施していく。
- ⑤ 小・中一貫教育のさらなる推進により、校区内3校の小学校との教育相談体制の連携を進める。

(4) 安全・安心で心潤う教育環境づくり

- ① 安全・安心な学校を第一に全教職員で心のこもった安全点検を実施する。
- ② さまざまな自然災害を想定した訓練を実施し、防災意識を高めるとともに、緊急時において的確かつ迅速に対応できるスキルを高める。
- ③ 犯罪や事故(特にSNSやインターネット等)に巻き込まれないために、保護者や他機関等との連携を図りながら、教職員、生徒、保護者、地域のセキュリティの向上を図る。
- ④ 掲示教育の充実や校内緑化の推進、清掃活動の充実等により、潤いと落ち着きのある教育環境の整備に努める。

(5) 保護者や地域等との連携協力の推進

- ① コミュニティスクールとしての与野西中学校の利点を生かし、保護者や地域等との信頼関係の維持向上に向けて、迅速かつ誠実な報告・連絡・相談・見届け・確認に努める。
- ② 学校だよりの地域回覧や学ブリ等での学年・学級だより・各種お便り、HP、学校安心メール等で積極的に情報を発信するとともに、学校公開、授業参観、保護者会等を活用して開かれた学校づくりに努める。
- ③ 校区環境美化活動や青少年育成与野西地区会によるパトロール等を通じて、保護者や地域等との連携協力を強化し、学校運営協議会のテーマである『生徒が「地域の中で清らかな心を身に付ける」』ために、地域ぐるみで生徒の健全育成に努める。
- ④ ・学校・地域交流センターの有効活用のための規約を策定し、必要とする地域の団体に幅広く門戸を開放する。地域の力を生徒に還元できる術を考えていく。

日 課 表

	月	火	水	木	金	朝短縮日課
8:15 ~ 8:20	職 員 打 ち 合 わ せ 会 議					
8:20 ~ 8:25	(移動)	登 校／着 替 え／出 欠 確 認 (8:25)				
8:25 ~ 8:35	朝会	朝 読 書				朝の会 8:25~ 8:30
8:35 ~ 8:40		朝 の 会				
8:40 ~ 8:50	(移動)	清 掃				
9:00 ~ 9:50	①	⑥	⑫	⑮	㉔	8:40~ 9:30
10:00 ~ 10:50	②	⑦	⑬	⑯	㉕	9:40~ 10:30
11:00 ~ 11:50	③	⑧	⑭	㉒	㉓	10:40~ 11:30
12:00 ~ 12:50	④	⑨	⑮	㉔	㉕	11:40~ 12:30
12:50 ~ 13:25	給 食					12:30~ 13:05
13:25 ~ 13:40	昼 休 み					13:05~ 13:20
13:40	予 鈴					13:20
13:45 ~ 14:35	⑤	⑩	⑮	㉒	㉓	13:25~ 14:15
14:45 ~ 15:35		⑪	⑯	㉔	㉕	14:25~ 15:15
15:35 ~ 15:45		帰 り の 会				15:15~ 15:25
14:35 ~ 14:45	帰りの会					諸会議
15:10	諸会議					

*①は全クラス「学活」

※ 基本的な方針

1. 朝短縮日課の日は、朝読書・朝清掃なし。
2. 清掃は教職員が揃っている時間帯で行う。
3. 給食時間は35分間とする。
4. 昼休みはできるだけカットすることのないようにする。
5. 放課後の清掃は、委員会や日直等の活動で行う。

下校時刻について

学年末テスト

～2学期中間テスト

17:45 部活動終了

18:00 完全下校

2学期中間テスト

～学年末テスト

17:15 部活動終了

17:30 完全下校

各教科年間時数並びに各ユニットにおける時数

(さいたま市の定める時数＝年間1015時間＋学校全体で45時間)

【 与野西中学校の年間時数 】

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	潤い	合計
1年	140	105	140	105	52	45	120	70	157	35	35	24	(9)	9	1037
2年	140	105	105	140	43	35	120	70	157	35	35	53	(9)		1038
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	157	35	35	53	(9)		1015

【 与野西中学校のⅠ期・Ⅱ期の時数 】

※ 1年生は、35週を『Ⅰ＝20週／Ⅱ＝15週』のⅡ期制にする。）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	潤い	合計
1年	140	105	140	105	52	45	120	70	157	35	35	24	(9)	人プ 9	1037
Ⅰ期	80 /4	60 /3	80 /4	60 /3	37 /1.8	30 /1.5	69 /3.4	40 /2	90 /4.5	20 /1	20 /1	10/ 0.5	(6)	人プ 6	602/29
Ⅱ期	60 /4	45 /3	60 /4	45 /3	15 /1	15 /1	51 /3.4	30 /2	67/ 4.5	15 /1	15 /1	14/ 1.6	(3)	人プ 3	435/29

* 人間関係プログラム＝9時間

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	合計
2年	140 /4	105 /3	105 /3	140 /4	43 /1	35 /1	120 /3.4	70 /2	157 /4.5	35 /1	35 /1	53 /1.5	(9)	1038

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	GS	道徳	特活	総合	S・T	合計
3年	105 /3	140 /4	140 /4	140 /4	35 /1	35 /1	105 /3.4	35 /1	157 /4.5	35 /1	35 /1	53 /1.5	(9)	1015

評価・評定について

(1) 各教科の「観点別評価」と「評定」

各観点を、A,B,C の3段階で評価し、それをまとめて5,4,3,2,1の5段階の評定をつける。

A「十分満足できる」	5「十分満足できるもののうち、高い程度にある」 4「十分満足できる」
B「おおむね満足できる」	3「おおむね満足できる」
C「努力を要する」	2「努力を要する」 1「一層の努力を要する」

(2) 「観点別評価」と「評定」の関係 (観点が3つある場合)

AAA	5
AAB ※1	4
AAC ABB ABC ACC BBB BBC	3
BCC	2
CCC	1or2

※1 AAB は AAB、ABA、BAA の A が 2 つ、B が 1 つの観点別評価を表しています。

与野西中学校の学習の約束

		具体的な内容
授業の基本	授業準備	机の上に次の授業の準備をし、チャイムが鳴る前に着席する。
	あいさつ	授業の最初と最後に、元気にあいさつする。 * 起立・礼・「お願いします」or「ありがとうございました」・着席
	取り組み方	- 授業では積極的に発言・発表をする。 - 無断で席を立たない。用があるときは、先生に要件を伝えて許可を得る。 - けじめをつけて授業に参加し、私語はしない。
授業中	発言の仕方	- 指名されたら、「はい」と返事をする。 「です・ます」を使うなど、丁寧な言葉で話す。 - みんなが聞き取りやすい声の大きさを発言・発表する。
	聴き方	- 話し手の方を見て、しっかり聞く。 - 友だちの発言を批判したり、からかったりしない。
	ノートの取り方	- 日々の復習やテスト勉強に活用できるよう、わかりやすく丁寧に書く。 - 板書内容だけでなく、大切だと思ったことは、どんどん記入する。 - ワークシート・プリント等も整理して、テスト勉強等に活用する。
宿題等	宿題・提出物	- 宿題や提出物は、早めに取り組み、期限を厳守して提出する。 - 提出物には、組・番号・氏名をしっかりと書く。 - 教科係や先生に直接提出する(教卓などに置きっぱなしにしない)。
テスト対策	テスト前	- 自分に合った学習計画を立てる。(不得意教科の対策など) * 部活動停止期間や休日を有効に使うようにする。 - 日々の授業の復習をもとに、ポイントをまとめ、覚え、練習問題等を解く。 - 学習会を積極的に活用する。
	テスト後	テスト返却後、間違えたところ、できなかったところを中心に復習する。
生活ノート	生活ノート	明日の持ち物の確認や1日の生活の振り返りなど、きちんと記入し、忘れ物のないようにする。

家庭学習について

基礎学力を定着させるためには、地道で継続的な学習が欠かせません。中学生の学習は、授業と宿題だけでは、十分とは言えません。授業内容を忘れないうちに、毎日こまめに家庭で復習することが大切です。

授業で学習した内容をしっかり身に付けるために、自主的、計画的な家庭学習の習慣を身に付けましょう。

1 家庭学習のポイント

- ① 家庭学習に必要な勉強道具は持ち帰る。
- ② 机に向かって、復習、宿題、予習に取り組む時間をつくる。
- ③ 決めた時間に勉強をスタートさせる。
- ④ テレビやゲーム、スマートフォン等の時間を制限する。

2 保護者の皆様へ

お子様の家庭学習を支えるためのポイントです。

- ① 勉強に集中しやすい環境をつくる。
- ② 学校での生活の様子に関心をもつ。
- ③ 将来の夢や就きたい職業について話し合う。
- ④ 勉強している様子を見守り、ほめる。

日々の家庭学習を習慣化させ、基礎学力をしっかり身に付けさせましょう。

3 家庭学習の取組チェック表

◎○△×

番号	項 目	自己評価
①	寝る前に、次の日の持ち物の準備をしている。	
②	宿題・提出物は、早めに取り組み、しっかり提出している。	
③	授業のノート、プリント等を活用している。	
④	わからないことは、聞いたり調べたりして、解決している。	
⑤	字は丁寧に書いている。	
⑥	テスト等で間違えたところは、もう一度やり直している。	
⑦	得意な教科だけでなく、不得意な教科も学習している。	

学習記録表

1学期中間テスト…記入例

		8日(金)	9日(土)	10日(日)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)
予定		塾19:00~22:00	塾15:00~19:00				塾19:00~22:00	
↓ 学習予定時間を								
時間		4 時間	8 時間	8 時間	5 時間	4 時間	4 時間	4 時間
国		☒ 漢字p、2 ☐ 音読「ふしぎ」	☒ 漢字p、3、4 ☐	☒ 音読「ふしぎ」	☒ 音読「オツベルと象」	☒ 漢字p、5、6	☒ プリント ☐	☒ 文法p、1~4
☆テスト範囲表を見て、やるべきことを書きだそう! ☆								
社		☒ ワークp、2~4 ☒ プリント1	☒ 教科書p、2~4	☒ プリント2 ☐	☒ ワークp、5~8 ☐	☐ ☐	☒ プリント3 ☐	☒ ノートまとめ ☐
数		☒ ワークp、2~4 ☒ ノートまと	☒ スタサブ ☒ 苦手復習	☒ ワークp、5~6 ☒ 問題2	☒ 問題3 ☐	☒ ワークp、7~8 ☐ スタサブ	☒ 問題4 ☐	☐ ☐
理		☒ ワーク~p、10 ☐	☒ スタサブ ☒ 教科書p、2~4	☐ ☐	☐ スタサブ ☐	☒ ワークp、11~15 ☐	☐ ☐	☒ 教科書p、5~10 ☐
G・S		☒ ノートp、3 ☒ プリント1、2	☒ ノートp、4 ☐	☒ 教科書~p、10 ☐ ワークp、2	☐ ☐	☒ 教科書~p、15 ☐	☐ ☐	☒ ワークp、3、4 ☐ ノートp、5
		実施時間	実施時間	実施時間	実施時間	実施時間	実施時間	実施時間
学習記録	1h							
	2h							
	3h							
	4h							
	5h							
	6h							
	7h							
	8h							
	9h							
	10h							
チェック欄		OK!	OK!	OK!	OK!	OK!	OK!	OK!

色えんぴつで

[illegible]

国語

の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

- ①自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じた的確に話したり聞いたりする能力を身につける。
- ②様々な材料を基に自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして論理的に書き表す能力を身につけるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにする。
- ③目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身につけるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を身につける。

授業の約束

- ①用意は休み時間にしましょう。忘れ物がある場合は、すみやかに報告しましょう。
- ②提出期限を守り、課題を提出しましょう。
- ③読みやすい文字で、正確で丁寧な字を書きましょう。
- ④授業中はやるべきことに集中して、しっかり取り組みましょう。

家庭学習

- ・授業で出された課題は、必ず取り組みましょう。
- ・予習として、教科書の授業で習う部分をよく読んでおきましょう。
- ・読めない漢字や、意味の分かりにくい言葉があったら、辞書で調べるようにしましょう。
- ・毎日の復習として、漢字の復習、ノートの見返しと整理、ワークの練習問題などに取り組みましょう。
- ・いろいろな本や新聞を読み、また世の中の出来事に関心をもつようにしましょう。

評価の観点

「知識・技能」

事象や行為、心情を表す語句について理解を深め、語彙を増やし、文法、漢字等についても理解を深め、知識を身につけているか。目的に応じた様々な文章を的確に読み取ることができ、読書に親しんだりしているか。場面に応じた文字を選び丁寧に書き表すことができているか。

「思考・判断・表現」

目的や場面に応じて、的確に聞き取り、または資料に当たって読み取り、良く考えているか。考えた結果を、適切な言葉や態度で、発表したり文章に書いたりすることができるか。

「主体的に学習に取り組む態度」

国語に関心・意欲を持ち、自らの学習に見通しを持って、進んで粘り強く、課題に取り組んでいるか。思いやりをもち、仲間と協同的に学習に取り組んでいるか。

評価の方法

- ・授業中の発言の様子
- ・ノートの書き込み内容
- ・定期テストの読解問題の結果
- ・定期テスト言語問題の結果
- ・漢字テストの結果
- ・書写の作品の状況

等

- ・発表する力、発表を聞く力
- ・音読、暗唱の力
- ・聞き取りテストの結果
- ・作文、レポート等の内容
- ・定期テスト作文の結果

等

- ・授業への参加の状況
(個人・集团的活動において)
- ・提出した課題の内容
- ・ノートの取り方の様子

等

令和7年度 国語 年間指導計画

学期	1年	2年	3年
1学期	・オリエンテーション ・『ふしぎ』『四季の詩』 ・聞くということ ・文字で心を伝えよう ・『桜蝶』 ・お気に入りの一品を紹介する ・言葉と社会1 言葉とコミュニケーション ・文法の小窓1 言葉の単位 ・『自分の脳を知っていますか』 ・言葉と社会2 イメージを言葉にする ・資料をもとに紹介文を書く ・構成を考えて話す ・漢字の広場1 漢字の部首 ・言葉の小窓1 日本語の音声 ・『ベンチ』 ・『全ては編集されている』 ・写真で「事実」を表現する ・材料を整理して案内文を書く ・漢字の広場2 画数と活字の字体	・オリエンテーション ・『虹の足』『豚』 ・いろいろな立場や考えを踏まえる ・『タオル』 ・文法の小窓1 活用のない自立語 ・新聞の投書を書く ・漢字の広場1 まちがえやすい漢字 ・『日本の花火の楽しみ』 ・『水の山富士山』 ・課題を設定して伝える ・手紙・メールを整える ・言葉と社会1 社会で求められる表現 ・言葉の小窓1 敬語 ・『夢を跳ぶ』 ・観点を明確にして伝える ・言葉の小窓2 話し言葉と書き言葉	・オリエンテーション ・『春に』『初恋』『見えないだけ』 ・『やわらかな想い』 ・『立ってくる春』 ・『なぜ物語が必要なのか』 ・情報を確かめてスピーチをする ・言葉の小窓1 和語・漢語・外来語 ・『私』 ・『薔薇のボタン』 ・構成を考えて主張をまとめる ・『メディア・リテラシーはなぜ必要か?』 ・新聞が伝える情報を考える ・漢字の広場1 呉音・漢音・唐音 ・漢字の広場2 熟字訓 ・『A I は哲学できるか』 ・客観性や信頼性のある記事を書く
2学期	・持続可能な未来を創るために ・『「エシカル」に生きよう』 ・『森には魔法つかいがいる』 ・文法の小窓2 文の成分 ・根拠を明確にして意見文を書く ・広告の情報を考える ・昔話と古典一箱に入った桃太郎 ・物語の始まりー竹取物語ー ・故事成語ー中国の名言ー ・『蜘蛛の糸』 ・『河童と蛙』 ・『オツベルと象』 ・随筆を書く ・言葉の小窓2 日本語の文字 ・言葉の小窓3 方言と共通語 ・『子どもの権利』 ・書初め	・『SNSから自由になるために』 ・脚本で動きを説明する ・漢字の広場2 漢字の成り立ち ・『持続可能な未来を創るためにー不平等のない社会を考えるー「ここにいる」を言う意味』 ・『紙の建築』 ・確かな根拠をもとに意見文を書く ・文法の小窓2 活用のある自立語 ・敦盛の最期ー平家物語ー ・随筆の味わいー枕草子・徒然草ー ・二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー ・『坊ちゃん』 ・『短歌の味わい』短歌十首 ・『夏の葬列』 ・漢字の広場3 漢字の多義性 ・映像作品の表現を考える ・『ガイアの知性』 ・書初め	・『Asyncー同期しないこと』 ・『問いかける言葉』 ・説得力のある批評文を書く ・実用文の情報を捉えて生かす ・言葉の小窓2 相手に対する配慮と表現 ・漢字の広場3 同訓異字 ・旅への思いー芭蕉と「おくのほそ道」ー ・和歌の調べー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集ー ・風景と心情ー漢詩を味わうー ・『最後の一句』 ・『俳句の味わい』俳句十五句 ・『故郷』 ・自己PR文を書く ・言葉の小窓3 慣用句・ことわざ ・評価しながらスピーチを聞く ・言葉と社会1 コミュニケーションの場を考える ・漢字の広場4 四字熟語 ・書初め
3学期	・『言葉がつながる世界遺産』 ・『地域から世界へーものづくりで未来を変えるー』 ・報告分を整える ・漢字の広場3 漢字の音と訓 ・漢字の広場4 熟語の構成 ・文法の小窓3 単語のいろいろ ・発言を結びつけて話し合う ・漫画で「物語」を表現する ・『少年の日の思い出』	・構成を明確にして説明文を書く ・相違点を明確にして聞く ・『学ぶ力』 ・さいたま読解力チャレンジ ・さまざまな考えを踏まえ討論をする ・言葉と社会2 社会生活と言コミュニケーション ・文法の小窓3 付属語のいろいろ ・『走れメロス』 ・「連作ショート」を書く ・漢字の広場4 同音の漢字	・持続可能な未来を創るためにー人間の生命・存在を考えるー『生命とは何か』『地球は死にかかっている』『水の星』 ・『「対話力」とはなにか』 ・言葉と社会2 自分の意見を述べるとき ・意見を共有しながら話し合う ・中学校生活をまとめて作品集を作る ・『バースデイ・ガール』 ・青春の歌
	140時間	140時間	105時間

社会の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に

立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次の通り育成することを目指す。

授業の約束

- ①「授業は受けるものではなく、みんなでつくりあげるもの」を基本精神とし、積極的に発言しましょう。
- ②授業中の作業には丁寧にかつ意欲的に取り組みましょう。
- ③先生が話をしているときには私語を慎み、目で話を聞きましょう。
- ④提出物は必ず期限内に提出しましょう。もし提出できない場合は、必ず先生に伝えましょう。
- ⑤忘れ物をしないでください。もし忘れ物をしてしまった場合は、授業が始まる前に必ず先生に伝えましょう。

家庭学習

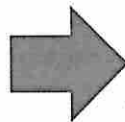
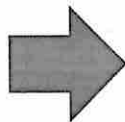
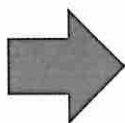
- ①授業で習った内容を復習しましょう。わからない用語があった場合は、調べたり聞いたりしてわかるようにしておきましょう。
- ②問題を解くときは、くりかえしやりましょう。1回目は教科書を見ながら解き、2回目は何も見ないで解き、3回目は2回目で間違えたところだけをやるなど、工夫してやることをお勧めします。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

テストにおける知識・技能の力を問う問題への解答状況
授業中の発言、課題に対する記述の内容
振り返りの記述内容等

授業での課題に対する記述の内容
テストにおける思考・判断・表現の問題の解答状況
地図・グラフ・資料を利用したレポート、新聞の内容 等

振り返りの記入内容、テストの解答状況
授業中の発言や姿勢、ノート等の提出物とその中身 等

令和6年度 社会 年間指導計画

月		1年	時		2年	時		3年	時			
4	地理	世界のさまざまな地域 第1章 世界のすがた	9	歴史 地理	第4章 近世の日本 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的 特色と地域区分	15 28	歴史	第6章 二度の世界大戦 と日本 第7章 現代の日本と 私たち	13 21			
5		第2章 日本のすがた	10									
6												
7	地理	第1章 世界各地の人々 の生活と環境	10					第1章 現代社会と私 たち 第2章 個人の尊重と 日本国憲法	15 8			
8												
9	歴史	第1章 歴史のとらえ方	20		第3章 日本の諸地域 九州地方 中国・四国地方 瀬戸内地方 近畿地方 中部地方 関東地方 東北地方 北海道地方	5 5 5 5 5 5 5 5 5	公民	第3章 現代の民主政治 と社会 第4章 わたしたちの暮 らしと経済	17 22			
10		第2章 古代までの日本	20									
11												
12												
1	地理	第3章 世界の諸地域		地理	第4章 地域の在り方	5 5						

数学

の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

- ・ 計算を素早く正確にする。
- ・ 物事の原理を理解し、直観・推測・規則性・論理を身につける。

授業の約束

- ・ 時間を守りましょう。
- ・ 無駄な私語は慎みましょう。
- ・ コンパス・定規・三角定規・分度器を準備しましょう。
- ・ 学習活動は指示されたとおりに取り組みましょう。
- ・ わからないことがあれば質問しましょう。
- ・ タブレットは、先生の指示に従って使いましょう。
- ・ タブレットは、毎回の授業で準備しましょう。

家庭学習

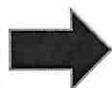
- ・ その日に受けた授業の復習をしましょう。
- ・ 宿題が出たら必ずやりましょう。
- ・ ワークなどは計画的に進めておきましょう。
- ・ 問題は時間をかけてじっくり考えましょう。わからない場合は教科書やノート（ファイル）など見てヒントを見つけてみましょう。
- ・ 毎日、ワークや教科書などを使って、計算練習をして基本を身に付けておきましょう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

授業の取組・発言・ノート（ファイル）・提出物・テスト

授業の取組・発言・ノート（ファイル）・提出物・テスト

授業の取組・発言・ノート（ファイル）
・ 課題・提出物

令和7年度 数学科 配当表

さいたま市立与野西中学校

学期	月	週	関連行事	1年				2年			3年			
				1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	4
1学期	4	1	入学式 始業式 終業式	正の数・負の数 29				式の計算 12			式の展開と因数分解 20			
		2												
	5	3		文字の式 19				連立方程式 15			平方根 17			
		4												
		5												
		6												
	6	7		文字の式 19				連立方程式 15			平方根 17			
		8												
		9												
		10												
	7	11									二次方程式 19			
		12												
2学期	8・9	13	始業式 終業式	方程式 18				一次関数 21			関数 $y=ax^2$ 19			
		14												
		15												
	10	16		変化と対応 19				図形の調べ方 18			図形と相似 23			
		17												
		18												
		19												
	11	20		平面図形 19				図形の性質と証明 21			円の性質 11			
		21												
		22												
		23												
	12	24						場合の数と確率 12			三平方の定理 15			
25														
3学期	1	26	卒業式 修了式	空間図形 18				箱ひげ図 4			学年のまとめ 5			
		27												
		28												
	2	29		データの活用 16				学年のまとめ 2						
		30												
		31												
		32												
	3	33		データの活用 16				学年のまとめ 2						
		34												
35														

理科の基礎学力定着プロジェクト

教科の目標

自然に対する関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。観察・実験を通して、自然を総合的に見ることができるようになる。

授業の約束

- ① 先生の話をよく聞き、安全に留意し積極的に実験・観察に取り組もう。
- ② 薬品や火を使う実験を行うときは、必ず安全眼鏡をつけて実験しよう。
- ③ 実験・観察の際は、原則、椅子を机の下に入れて立って行おう。
- ④ 実験で使うものは、絶対にいたずらをせず、正しく丁寧に扱おう。

家庭学習

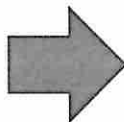
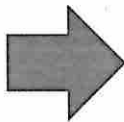
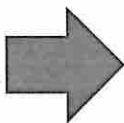
- ① 授業で学習したことは、その日のうちに復習しよう。
理科用語、公式、法則、実験・観察の方法・手順、器具の使い方をおさえておこう。
家庭学習用の理科ノートを作るのも良いです。
- ② 基本をおさえたら、問題集を進めよう。
間違いや見落としの無いように、理解を深めよう。
わからないことは、次の日に先生に聞いて解消しよう。
- ③ 定期テストの前は、繰り返し問題を解こう。
定期テストでは、問題集や学校で配布されるプリントにある問題と類似した問題が出題されます。
- ④ 普段から、自然の事物・現象など、身の回りのことに関心を持ち、科学的な見方、考え方を身に付けよう。

評価の観点

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度



評価の方法

定期テスト
小テスト
実験・観察時の様子
技能テスト

定期テスト
実験・観察の考察
授業時の発言

授業を受ける態度・姿勢
(発言・集中度・実験観察への取り組み)
ノート・ワーク等の提出物

令和7年度 理科 年間指導計画

月		1年	時		2年	時		3年	時	
4	いろいろな生物とその共通点	自然の中にあふれる生命	9	化学変化と原子・分子	物質の成り立ち	12	生命の連続性	生物のふえ方と成長	9	
5		植物の特徴と分類	8		物質の表し方 さまざまな化学変化	4 10		遺伝の規則性と遺伝子 生物の種類の多様性と進化	8 6	
6		動物の特徴と分類	10		化学変化と物質の質量	7		水溶液とイオン	9	
7	身のまわりの物質	いろいろな物質とその性質	8	生物の体のつくりとはたらき	生物の体をつくるもの	6	化学変化とイオン	電池とイオン	8	
8		いろいろな気体とその性質	6		植物の体のつくりとはたらき	10		酸、アルカリと塩	12	
9		水溶液の性質	6		動物の体のつくりとはたらき	13				
10		物質のすがたとその変化	8		動物の行動のしくみ	7		地球と宇宙	宇宙の天体 太陽と恒星の動き	7 8
					地球をとり巻く大気のようにす	10			月と金星の動きと見え方	7
11	身近な物理現象	光による現象	11	地球の大気と天気の変化	大気中の水の変化	6	運動とエネルギー	力の合成と分解	9	
12		音による現象	5		天気の変化と大気の動き	6		物体の運動	12	
		力による現象	10		大気の動きと日本の四季	13		仕事とエネルギー	8	
1						電流の性質		17	科学技術と人間	多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー資源とその利用
2	大地の成り立ちと変化	身近な大地	4	電流とその利用	電流の正体	8	自然と人間	自然界のつり合い さまざまな物質の利用と人間	6 5	
		ゆれる大地	4		電流と磁界	11		科学技術の発展 人間と環境	3 6	
3		火をふく大地	7					持続可能な社会をめざして	9	
		語る大地	9							
105時間			140時間			140時間				